

しょう6 こくご「物語・随筆を読む」その2

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

- 1 ^{あし おそ}足の遅い^{えら}ぼく^{なかま}を、リレーのアンカーに^{まえ しん}選んでくれた仲間。「お前^{ことば}を信じてる」その言葉
に、僕は全^{ぼく ぜんりよく}力^{はし}で走^{はし}った。

^{ぼく ぜんりよく}僕が全^{はし}力^{はし}で走^{はし}ったのはなぜ？

^{しん}ア 信じてくれた仲間の^{なかま おも}思いにこたえた^{おも}かったから ^{しん}イ リレーがきらいだから

^{はし}ウ 走るのが好きだから ^{ひとり}エ 一人になりたいから ^{おも}こたえ _____

- 2 ^{がっしょう}合唱コンクールの朝^{あさ}、のどの調子^{ちょうし}が悪い^{わる}ことをかくしていたり^{わる}こに、指揮者^{しき しゃ}の^いなおが言
った。「無理^{むり}しないで。あなたの分^{ぶん}まで、みんな^{うた}で歌うから。」

^{ことば}なおの言葉から^わ分かる^{きも}気持ちは？

^{うた}ア りこの歌をきらっている ^{からだ おも}イ りこの体を思いやっている ^{しき まか}ウ りこに指揮を任せたい

^{ゆうしょう}エ 優勝をあきらめている ^{おも}こたえ _____

- 3 ^{てんこうしょにち}転校初日、きんちょうで下^{した}を向^むいていたそうた。すると、同じ^{おな}はんの子^こが「一^{いっしょ}緒^{きゅうしょく}に給食
^{はこ}運^{こえ}ぼう」と声^{こえ}をかけてくれた。そうたの顔^{かお}が、ぱっ^{あか}と明^{あか}るくなった。

^{かお あか}そうたの顔が明^{あか}るくなったのはなぜ？

^{いえ かえ}ア 家に帰れるから ^{じゆう}イ はんが自由だから ^{こえ あんしん}ウ 声をかけてもらえて安心したから

^{きゅうしょく す}エ 給食が好きだから ^{おも}こたえ _____

- 4 ^{としょ じつ}ひなは図書室で落^おとし物^{もの}の筆箱^{ふでばこ}を拾^{ひろ}った。持ち主^もが分^{ぬし}からずこま^わったが、係^{かかり}の先生^{せんせい}にとど
^{こころ}けると、心^{こころ}がすっ^{かる}と軽^{かる}くなった。

^{こころ}ひなの心^{こころ}が「軽^{かる}くなった」のはなぜ？

^{せんせい}ア 先生にほめられたから ^{じゅぎょう お}イ 授業が終わったから ^{ふでばこ}ウ 筆箱をもらえたから

^{ただ おも}エ 正しいと思うことをして安心したから ^{あんしん}こたえ _____

5 いつも無口な祖父が、僕の合格を聞くと、めがねを外して何度も目もとをぬぐった。何も言わなかったが、僕には十分だった。

祖父の様子から分かる気持ちは？

ア 言葉にしなくても心から喜んでいる イ 早く帰りたい ウ 合格に反対している

エ めがねがきたなかった こたえ _____

6 ミスをして落ちこむぼくに、コーチはおこらなかった。「よく気づいたな。次に生かせばいい」その一言で、目の前が明るくなった。

「目の前が明るくなった」のはなぜ？

ア ミスがなかったから イ 照明がついたから

ウ コーチの言葉で前向きな気持ちになれたから エ 練習が終わったから こたえ _____

7 夏休みの自由研究、毎日こつこつ観察を続けたひかり。完成したノートを先生に見せると、「よく続けたね」とほめられ、胸がいっぱいになった。

ひかりの胸がいっぱいになったのはなぜ？

ア 夏休みが終わるから イ 宿題が終わってほっとしたから

ウ 努力がみとめられてうれしかったから エ ノートが重かったから こたえ _____

8 おばあちゃんの家のお古の時計は、少しおくれる。母は「直そうか」と言ったが、おばあちゃんは「これでいいの」とやさしく笑った。

おばあちゃんが「これでいい」と言ったのはなぜ？

ア 思い出のつまった時計をそのままにしておきたいから イ 時計に興味がないから

ウ 直すお金がないから エ 時間を知りたくないから こたえ _____

- 9 老犬のシロは、僕が学校から帰ると、ゆっくり尾をふる。昔のように走ってはこない。それでも毎日、門の前でぼくを待っている。

シロの様子から分かることは？

ア 年をとっても「僕」を大切に思っている イ 門の外に出たがっている

ウ 散歩がきらいになった エ 「僕」のことを忘れてしまった こたえ _____

- 10 まことは大事にしていたゲームを、弟にこわされてしまった。泣きそうな弟を見て、こみあげた言葉をのみこみ、「一緒に直そう」と言った。

まことが言葉をのみこんだのはなぜ？

ア ゲームがどうしてもよかったから イ 直し方を知らなかったから ウ 弟がこわいから

エ おこりたい気持ちをおさえて弟を思いやったから こたえ _____

- 11 雨あがりの道で、みみずが道の真ん中にいた。ふまれないように、ゆうきはそっと草むらへ返してやった。

ゆうきの行動から分かることは？

ア 草むらで遊びたい イ 小さな生き物の命も大切にしている ウ みみずが好きなだけだ

エ とてもいそいでいた こたえ _____

- 12 古い辞書のページの間に、押し花を見つけた。中学生だった母が、はさんだものだという。時間は流れても、残るものがあるのだと思った。

筆者が感じたことは？

ア 古い辞書は捨てるべきだ イ 時間がたっても残るものがある ウ 母は辞書をきらいだった

エ 花はすぐにかれてしまう こたえ _____

- 13 図書室で、いつも一人で本を読む子に、ゆいは「その本、おもしろい?」と話しかけた。
その子は、うれしそうに本の話 시작했다。

話しかけられた子の気持ちに近いのは?

ア 話ができるうれしい イ 早く帰りたい ウ 一人がよかった エ 本がきれいになった
こたえ _____

- 14 テストが返って来た。思ったより点が低くてがっかりしたが、間違えた所を見直すと、
「次はここに気をつけよう」と前を向けた。

「前を向けた」のはなぜ?

ア 見直しをやめたから イ 点が高かったから ウ 間違いを次に生かそうと思えたから
エ テストがなくなったから こたえ _____

- 15 長い坂を、重いにもつを持ってのぼるおじいさん。しゅんはかけよって、片方のふくろを
持った。おじいさんの「ありがとう」に、しゅんの胸はあたたかくなった。

しゅんの胸が「あたたかくなった」のはなぜ?

ア 天気がよかったから イ 荷物が軽かったから ウ 坂をのぼり切ったから
エ 人の役に立てた喜びを感じたから こたえ _____

- 16 かなは苦手ななわとびを、毎朝こっそり練習していた。ある日みんなの前で二重とびを
決めると、自分でもおどろくほど大きな拍手がわいた。

この場面のかなの気持ちに近いのは?

ア 練習をやめたい イ なわとびがきれいになった ウ 努力がむくわれてほこらしい
エ 拍手がうるさい こたえ _____

- 17 ^{あた}新しいクラスでまだなじめないりく。^{やす}休み時間、^{じかん}思いきって「^{おも}サッカー入れて」と言う
と、みんなが「^{えがお}いいよ!」と^{こた}笑顔で答えた。

この場面^{ばめん}のりくの気持ち^{きも}の変化^{へんか}は？

ア ^{ずっと}こわいまま イ ^{たの}楽しさから^{たいくつ}退屈へ ウ ^{いか}怒りから^{かな}悲しみへ

エ ^{ふあん}不安から^{あんしん}安心へと変わった ^かこたえ _____

- 18 コンクールの結果^{けっか}は銀賞^{ぎんしょう}だった。金賞^{きんしょう}をねらっていたみんなはしずんだが、りなは
「^{らいねん}来年こそ」と、こぶしをにぎった。

りなが「こぶしをにぎった」ときの気持ち^{きも}は？

ア ^{おんがく}音楽がきらいになった イ ^{ぎんしょう}銀賞で^{だいまんぞく}大満足だ ウ もうやめたい

エ ^{つぎ}くやしさをバネに次をめざそうとしている ^{こたえ} _____

- 19 ^{いちねんかん}一年間、^{まいあさみず}毎朝水やりを^{つづ}続けた朝顔^{あさがお}が、^{おお}大きな^{はな}花を^{はな}さかせた。あきは^みその花を見て、^{つづ}続けて
^{こころ}よかったと^{おも}心から思った。

あきが「^{つづ}続けてよかった」と^{おも}思ったのはなぜ？

ア ^{はな}花がすぐにかれたから イ ^{あさがお}朝顔がきらいだから ウ ^{みず}水やりがいやだったから

エ ^{まいにち}毎日の^{せわ}世話が^{はな}花となって^{みの}実ったから ^{こたえ} _____

- 20 ^{にがて}苦手な^{にじゅう}なわとびの二重とび。何度^{なんど}も失敗^{しっぱい}したそうまだが、^{さんかい}ついに三回^{せいこう}続けて成功し、^{おも}思わずガッツポーズをした。

そうまがガッツポーズをしたのはなぜ？

ア ^{つかれた}から イ ^お終わり^{たかった}から ウ ^{できなかった}ことができてうれしかったから

エ ^{なわとび}がきらいだから ^{こたえ} _____

こたえ しょう6 こくご「物語・随筆を読む」 その2

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1 ア 信じてくれた仲間の思いにこたえたかったから | 10 エ おこりたい気持ちをおさえて弟を思いやったから |
| 2 イ りこの体を思いやっている | 11 イ 小さな生き物の命も大切にしている |
| 3 ウ 声をかけてもらえて安心したから | 12 イ 時間がたっても残るものがある |
| 4 エ 正しいと思うことをして安心したから | 13 ア 話ができるうれしい |
| 5 ア 言葉にしなくても心から喜んでいる | 14 ウ 間違いを次に生かそうと思えたから |
| 6 ウ コーチの言葉で前向きな気持ちになれたから | 15 エ 人の役に立てた喜びを感じたから |
| 7 ウ 努力がみとめられてうれしかったから | 16 ウ 努力がむくわれてほこらしい |
| 8 ア 思い出のつまった時計をそのままにしておきたいから | 17 エ 不安から安心へと変わった |
| 9 ア 年をとっても「僕」を大切に思っている | 18 エ くやしさをバネに次をめざそうとしている |
| | 19 エ 毎日の世話が花となって実ったから |
| | 20 ウ できなかったことができてうれしかったから |